

ロシアとウクライナ の聖母への奉獻に一 致を、教皇、全世界 の司教に

教皇フランシスコは、ロシアとウクライナのマリアの穢れなき御心への奉獻に一致するよう、すべての司教らを招かれた。教皇フランシスコは、3月25日（金）にとり行われるロシアとウクライナのマリアの穢れなき御心への奉獻において、ご自身と一致して欲しいと全世界の司教らを招かれている。

2022/03/23

(日本司教協議会のホームページから)

日本のカトリック信者の皆様

ウクライナとロシアを聖母マリアの汚れなきみ心に奉獻する

教皇フランシスコと心をあわせて

ロシアによるウクライナへの武力侵攻は、2月24日に発生してからまもなく一ヶ月になろうとしていますが、残念ながら戦争状態は継続しており、平和とはほど遠い現実が、毎日のように報道されています。

いのちが危機に直面しているこの状況を憂慮され、平和を求めるために様々に努力を続けておられる教皇フランシスコは、聖母の取り次ぎによ

る平和を求めて、来る3月25日

(金) 神のお告げの祭日のローマ時間午後5時（日本時間3月26日午前1時）に、聖ペトロ大聖堂において、ロシアとウクライナを聖母マリアの汚れなきみ心に奉獻されます。

なお3月25日は、1984年に教皇ヨハネパウロ2世がロシアを聖母マリアの汚れなきみ心に奉獻した日でもあります。

教皇様は、全世界の司教たちに、また司教を通じてすべての信者に、この奉獻に一致して祈るようにと呼びかけ、できれば同じ時間に祈りを捧げるようになると招いておられます。

当日のために準備される祈りは、現時点ではまだ教皇庁から届いていませんが、届き次第、可能であれば翻訳を間に合わせ、ホームページなどでお知らせすることができればと思います。公式の祈りが間にあわない場合でも、教皇様の意向に心をあわ

せ、平和のためにロザリオの祈りなどをお捧げください。また教皇様の奉獻との同時刻は日本では深夜ですので、祈りを捧げるのは翌朝でもかまいません。具体的には、それぞれの教区司教の定めるところに従ってお祈りください。

聖母の取り次ぎによって、神の平和がこの地上にもたらされ、特にウクライナの地に平和が確立されますように、また賜物であるいのちがその尊厳を守られますように、教皇様と心をあわせてともに祈りをささげましょう。

2022年3月23日

日本カトリック司教協議会 会長

カトリック東京大司教 菊地功

pdf | から自動的に生成されるドキュメント <https://opusdei.org/ja-jp/article/roshia-to-ukraina-no-Seibo-hen-Houken/> (2026/01/21)